

応募について

5つのカテゴリと3つの部門をお選びいただきご応募ください。

<5つのカテゴリ>

プロダクト
第12回からの新カテゴリ アプリケーション・サービス (スマートフォンアプリ、ICTサービス、教育・子育て支援サービスなど)
建築・空間
コミュニケーション
調査・研究

<3つの部門>



安心・安全
子どもたちの
安全・安心に貢献する
デザイン部門



創造性育成
子どもたちの
創造性と未来を拓く
デザイン部門



子育て応援
子どもたちを
産み育てやすい
デザイン部門

審査委員

審査委員長



益田文和
インダストリアルデザイナー
オープンハウス 代表取締役

東京造形大学デザイン学科卒業。
建設会社、デザインオフィスを経て、
インダストリアルデザイナーとして
様々な製品のデザイン開発、
地域産業のデザイン振興など
国内外のプロジェクトに関わる。
1991年株式会社オープンハウス
設立、代表取締役。

副審査委員長

赤池 学 (科学技術ジャーナリスト/ユニバーサルデザイン総合研究所 所長)
無藤 隆 (教育心理学者/白梅学園大学大学院 特任教授)
持丸 正明 (産業技術総合研究所 人間情報研究部門 研究部門長)
山中 龍宏 (小児科医/緑園こどもクリニック 院長)

審査委員

赤松 幹之 (産業技術総合研究所 自動車ヒューマンファクター研究センター 首席研究員)
大月 ヒロ子 (ミュージアム・エデュケーション・プランナー/イデア 代表)
岡崎 章 (拓殖大学 教授/理工学総合研究所 所長)
定行 まり子 (日本女子大学 教授)
竹村 真一 (文化人類学者/京都造形芸術大学 教授/Earth Literacy Program 代表)
西田 佳史 (産業技術総合研究所 人工知能研究センター 首席研究員)
橋田 規子 (プロダクトデザイナー/芝浦工業大学 教授)
水戸岡 鋭治 (デザイナー/ドーンデザイン研究所 代表)
宮城 俊作 (ランドスケープアーキテクト/設計組織 PLACEMEDIA パートナー)
森本 千絵 (コミュニケーションディレクター/アートディレクター)
山中 敏正 (筑波大学 芸術系長 教授)

スケジュール

3月1日(木)～5月11日(金)	7月中旬	7月中旬～7月下旬	8月24日(金)	9月25日(火)
Webで応募受付 ※1 審査料: 50,000円(税抜)	作品提出	審査	キッズデザイン賞 ^{※2} 受賞作品発表	キッズデザイン賞受賞作品の中から 最優秀賞など発表・表彰

※1: 自治体ならびに国公立の機関のみが応募の場合は、10,000円(税抜)になります。企業等の連名応募の場合は、対象になりません。都内中小企業は、東京都による審査料補助が受けられます。作品カテゴリーが「調査・研究」の場合は、審査料を無料とします。詳細はキッズデザイン賞WEBサイトをご覧ください。※2: マーク使用料について、受賞時プレスリリースでの使用は無料、受賞後のマーク使用料は50,000円～(税抜)となります。マーク申請をしていただいた受賞作品は2年目以降も継続して無料でマークを使用することができます。

様々なメリットで、受賞後をサポートします

- パッケージを始め、WEB、パンフレットなど「キッズデザインマーク」を使用したPR展開ができます。
- 様々なメディアに取り上げられることで、ビジネスチャンスが広がります。
- 受賞作品の展示やワークショップ、セミナーなどをご紹介します。
- 受賞作品について、審査委員からのコメントをWEBサイトで紹介。作品の意図や長所をアピールできます。



お問い合わせ:キッズデザイン賞事務局
Tel: 03-5405-2142 (平日10:00～17:00)
Webサイト: www.kidsdesignaward.jp
Mail: 2018kids@kidsdesign.jp

上記メールは問い合わせ専用です。メールに書類を添付しての応募の場合は無効とさせていただきます。



第12回 キッズデザイン賞募集

募集期間 2018. 3/1(木)～5/11(金)

詳細はキッズデザイン賞ホームページへ
<http://www.kidsdesignaward.jp>

主催: 特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 後援: 経済産業省、消費者庁、内閣府(予定)



すべての製品、空間、サービスは、 子どもたちの未来を創る大切なもの、と考えます。

今年も募集します！「第12回 キッズデザイン賞」

キッズデザイン賞は、形のあるもの、ないものに関係なく、さまざまな製品や空間づくり、サービスの仕組みなどを応募いただけます。その中から、子どもたちの、そして子育てのための環境づくりに貢献する、優れた取り組みを表彰します。これまで数多くの企業や団体、組織から応募をいただき、子どもたちの未来のための、新たな発見や問題解決のためのヒントが見つかっています。キッズデザイン賞を通じてたくさんのアイデアが集まることは、子どもたちの豊かな未来を創ることにつながると、私たちは考えます。子どもたちのよりよい未来を一緒に創っていきましょう。ぜひご参加ください。

親子で 思い出を共有

感動と学びにつながる、親子の共通体験

ヤマハ親子バイク教室

- 子どものバイク体験を親がサポートして一緒に学ぶ
- 自転車に乗るときにも活かせる交通安全指導



子どもと楽しめる移動時間

新発想の車両開発で、 子育て世代の電車移動を応援

西武鉄道株式会社 新型通勤車両40000系

- ベビーカーもゆったり置けるパートナーゾーン
- 子どもたちの好奇心をくすぐる大型窓
- 車内に空気清浄器、トイレにベビーシートを設置



ママの安全は 子どもの安心

運転するママと 同乗する子どもへの 配慮をテーマにした先端技術

MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDSの進化

- 万一の挟み込みから子どもを守るタッチセンサー
- チャイルドシートの取り付けやすさを追求



想像力を ぴかぴかに磨く

アートとテクノロジーが 融合した、デジタル砂遊び

SAND PARTY!

- 砂場、プロジェクションマッピング、ARの技術を融合した、新しい砂遊びの提案
- 抗菌・防カビの砂を使用して、衛生面も考慮



子育て中の不安を安心に

小児科医に、 スマホでつながる相談サービス

小児科オンライン

- LINEやSkypeなどのアプリで医療相談
- 現役の小児科医が対応

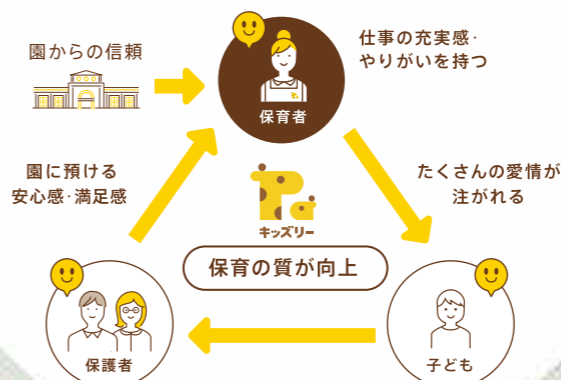


園と保育者を 良好につなぐ

保育者が いきいきと働くためのサポートシステム

キッズリー保育者ケア

- 保育園・幼稚園で働く保育者のためのコンディショニング診断サービス
- 保育者理解の手立てや離職を防ぐためのフォローなど幅広く活用可能



子どもにママの笑顔を贈る

ワークライフバランスを考えた、 ママ社員のための社内プロジェクト

マミーズプロジェクト

- 産休から復帰した女性営業社員が、スキルを活かしながら働くためのサポートプロジェクト
- 子育てと仕事の両立を、様々なアイデアで応援



子ども、子育ての環境改善に、 市民も協力

クラウドファンディングで実現した、 児童相談所の新しいウェブサイト

福岡市こども総合相談センターえがお館 ウェブサイト

- お金を集めて寄付をするのではなく、「デザインしたサイト自体を寄付する」アイデア
- 行政だけに頼るのではなく、クラウドファンディングで幅広く市民の参加を促す新しい手法



子どもたちの 味覚を守る、育てる

在来作物の継承と 子どもの食育を結ぶプログラム

在来作物で味覚のレッスン

- 在来作物の種を守る農家を描いたドキュメンタリー映画と食育ワークショップの組み合わせ
- 親子一緒に地域の食文化を体験



心もからだものびやかに

子どもの感性を豊かに育てる、独創的な造形

保育室スマイルエッグス「木の子」

- 外観に、室内に、ふんだんに木材を使用して、楽しく快適な保育環境を実現
- 子どもの成長とともに空間の見え方や外周の遊び方も変化する、ユニークなデザイン



おやつ時間も安心

子どものやけど対策を追求した、 安全設計

転倒流水防止構造つき蒸気レス電気ケトルPC-J-A1型

- 蒸気を外に出さないののでやけどの心配が少ない
- 万一、倒れた場合でもお湯もれを最小限に

